

# 「新しい生活様式」での自治会活動について

自治会活動は、地域住民の親睦や防災・防犯、安全・安心な環境作りなど、大変重要な役割を担っています。一方で、活動の内容によっては、人が集まり、お互いに密接する場面が生じることから、新型コロナウイルス感染症への感染の不安を感じる地域住民の皆さんは少なくありません。イベントや会議を開催する際は「3密」を避け、こまめな換気や消毒をするなど「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大防止策を講じながら活動する必要があります。特に、以下のような…

- ① 調理・会食を伴う活動、
  - ② 密接が避けられない活動、
  - ③ 呼気が激しくなるような運動を多人数で室内で行う活動（例：踊り・体操など）
  - ④ 密閉した部屋で大きな声を出すことや歌う活動（例：合唱・カラオケ・民謡など）
- …といった感染リスクが高い活動のほか、高齢者、持病がある方など重症化するリスクが高い方が参加するイベントについては、特に注意していただき、感染症対策が十分に実施できない場合には、中止や延期等も含め検討をお願いします。

また、イベントや会議などの実施にあたっては、「活動の必要性」や「実施する上での対策」などを十分に地域住民へ周知し、理解と協力を得た上での活動が望まれます。

## 活動を行う上での基本的事項

### 1 感染防止の3つの基本

- (1) 身体的距離を確保しましょう。（できるだけ2m（最低1m）以上）  
会話する際は可能な限り真正面を避けましょう。
- (2) マスクの着用を徹底しましょう。（ただし、熱中症などにも十分注意）
- (3) 手洗いや手指の消毒を徹底しましょう。

### 2 「3密」の回避

- (1) 密閉しない  
窓がない等、こまめな換気ができない場所での活動は避けましょう。
- (2) 密集しない  
多くの人が集まったり、少人数でも近い距離で集まったりすることはしない。
- (3) 密接しない  
至近距離での会話や発声をするのは避けましょう。

## **各種活動事例における具体的な留意点**

各種活動事例における具体的な留意点をお示しします。なお、記載の活動はあくまで一例となりますので、各自治会の活動内容に応じて、適宜、感染拡大防止に努めてください。

### **1 定期総会、各種会議の開催例**

- ▶総会などは、書面開催や委任状の利用、開催日の複数設定による分散開催など、最小限の人数で開催する。
- ▶座席の間隔をできるだけ2メートル以上空ける。
- ▶対面座席は避け、マスクの着用や防護シートの設置などにより、飛沫感染を防ぐ。
- ▶換気をこまめに行い、会議は短時間で行う。
- ▶定例会の回数自体を減らす。
- ▶ZOOM（ズーム）等のリモート会議システムや、LINE（ライン）等のソーシャルメディアを使った打ち合わせを活用する。

### **2 会費等の集金の一例**

- ▶月々の集金ではなく、数か月に1度など、可能な限り回数を減らす。
- ▶訪問時はマスクを着用し、金銭受け渡しの前後は手洗いを徹底する。
- ▶口座振り込みの導入等により、対面でのやり取りを避ける。

### **3 回覧板・チラシ配布の一例**

- ▶対面による手渡しは避け、郵便受けに入れる。
- ▶受け渡しの前後には手洗い又は消毒を行う。
- ▶地域活動の告知等を行う場合は、実施にあたっての感染防止策を明記するなど参加者の理解を得るようにする。

### **4 地域の祭やイベント等の事業活動の一例**

- ▶参加者を把握するために受付表を用意して、事後に感染陽性者が出た場合に、速やかに関係者や参加者に連絡ができるようにする。
- ▶参加者に、埼玉県 LINE（ライン） コロナお知らせシステムや新型コロナウイルス接触確認アプリ“COCOA（ココア）”等を活用するよう案内する。
- ▶活動の前には、参加者の検温や体調確認を徹底する。
- ▶密状態を避けることのできる会場設定と、十分な換気に配慮する。
- ▶参加者の距離が近くなる場合は、アクリル板やシート等を用いて飛沫等による感染への対策を徹底する。

- ▶ 参集する人数を減らすために参加者や場所を入れ替えて複数回行うなど、分散開催とする。
- ▶ 会場での飲食は行わない。飲食物を配布・持ち帰りとする場合は食品衛生面に注意をする。
- ▶ 活動終了後は速やかに解散する。

## 5 市内・県内の自治会で見られた実例から

### (役員会等の開催方法)

- ▶ 会場にパソコンを1台用意し、オンラインを希望する人にも参加できるようにした。
- ▶ 一堂に会する会議を改め、担当ごとに分散して少人数で開催した。
- ▶ 事前に会議資料を配布して各々が事前に目を通し、課題などへの自案を持ち寄ることで短時間の会議とした。

### (回覧板を使用しない情報共有方法)

- ▶ スマートフォンで利用できるLINE(ライン)やマチコミ等を活用した情報共有の仕組みを作って、回覧板を回す回数を少なくした。
- ▶ 回覧板の受渡しに抵抗のある方々のために、屋外の掲示板での情報提供に力を入れた。

### (防災訓練等)

- ▶ 電話だけで実施できる緊急連絡網を使った情報伝達訓練をした。
- ▶ 地域の危険箇所等を盛り込んだ防災マップを作成・配布し、感染対策の上でスタンプラリーを実施した。
- ▶ 各家庭でできる防災マニュアルを作成・配布し、自宅での防災対策を行う企画にした。

### (その他の活動)

- ▶ 屋外で密にならず行える公園の清掃や草取り活動を、自由参加者や有志により行った。
- ▶ オンライン講演会を開催した。
- ▶ 夏祭りを“在宅盆踊り”として、YouTube(ユーチューブ)で生配信して楽しんでもらった。
- ▶ 屋外でドライブスルー型敬老会を企画して、抽選会と福祉相談会を行った。
- ▶ 高齢者見守り活動では、自宅でする簡単な体操の手順書やクロスワードパズル等の印刷されたものを配布し、体と頭の体操による認知症予防に努めた。

▶▶▶ パソコンやスマートフォン等のインターネット通信を使った情報技術を活用することで、感染予防された自治会活動が実現したり、労力や時間をかけない新しい形での自治会活動が見えてきたりすることもあります。この際、現役世代の会員さんや会員の“お孫さん”等の知識や経験を借りてみてはどうでしょうか？ また、春日部市市民活動センターではオンライン会議の始め方等についても相談をすることができます。

(同センター▶所在地：春日部市南 1-1-7 / 電話：048-731-3550)

▶▶▶ 地域や社会状況によって事情は変わります。各地域で、それぞれに相応しい活動の方法を一緒に考え、無理の無い範囲での自治会活動をお願いします。

# オンライン会議や情報共有できる無料サービス等

## 会議関係

スマートフォンや（画面上部等に小さな撮影カメラ付きの）パソコンで、無料のアプリをインターネット経由で取り入れると、手軽な操作で相手の顔を見ながら通話できます。関係者が同時にアプリを使用して互いにつながっている状況では、簡易的なオンラインでの会議となります。スマートフォンやパソコンの画面は皆が同じものを共有することも可能です。チャット（文字やり取りの会話）機能も併用されているものもあります。（サービス内容の変更、無料・有料の条件の変更等、利用に際してはサービス提供者の最新情報を確認ください。）

### ◆LINE（ライン）

▶最大200人／時間制限無／チャット機能

### ◆Facebook（フェイスブック）の Messenger Rooms（メッセンジャー・ルームス）

▶最大50人／時間制限無／チャット機能

### ◆Skype（スカイプ）の Meet Now（ミート・ナウ）

▶最大50人（実用25人程度）／4時間の時間制限／チャット機能／録画機能

### ◆Google Meet（グーグル・ミート）

▶最大100人／60分の時間制限／チャット機能

### ◆ZOOM（ズーム）

▶最大100人／40分の時間制限（2人利用や有料版は無制限）／チャット機能  
／録画機能

### ◆Microsoft Teams（マイクロソフト・チームス）

▶最大100人／60分の時間制限／チャット機能有

## 回覧板・掲示板関係

### ◆チームルーム掲示板（価格コム）

▶掲示板の書き込みに PDF 画像とした資料の添付可能。

### ◆デジタル回覧板（㈱クレアンスメアード）

▶アンケート機能、資料の閲覧機能等もあります。

### ◆マチコミ（㈱ドリームエリア）

▶掲示板では50のグループ設定ができます。アンケート、カレンダー機能も。

こちらに記載してあるものはあくまで参考です。他にも多くのサービスが提供されていますので、地域の実情に応じてご検討ください。

（令和3年9月現在）